

図 4 - 3

Percellome 手法の特徴は、子宮肥大反応の様な場合に顕著に現れる。卵巣を摘出する子宮が萎縮しエストロゲン投与により元に戻るという劇的な変化をするとき、無処置対照群をコントロールにした、いわゆるグローバル・ノーマライゼーションを実施すると、統計処理をするために変動しないものや減って見える遺伝子群がルストアップされることになるが、実際に細胞 1 個当たりで見ると、殆ど全ての遺伝子のコピー数が増えている。(図 4 - 4)、(図 4 - 5)

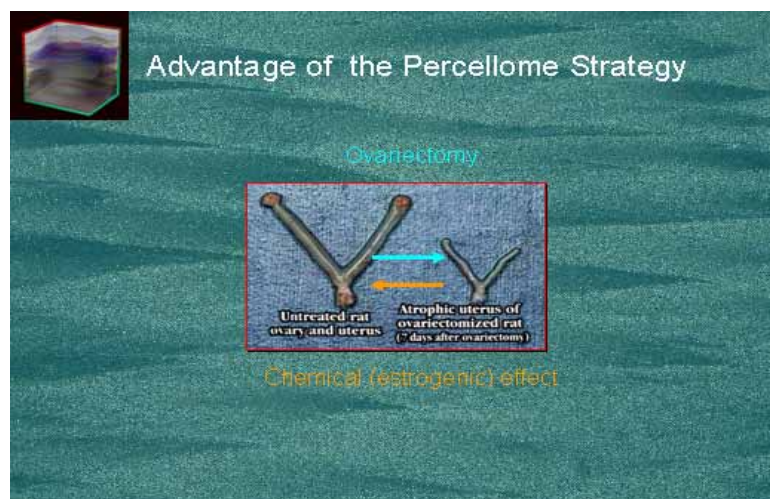


図 4 - 4

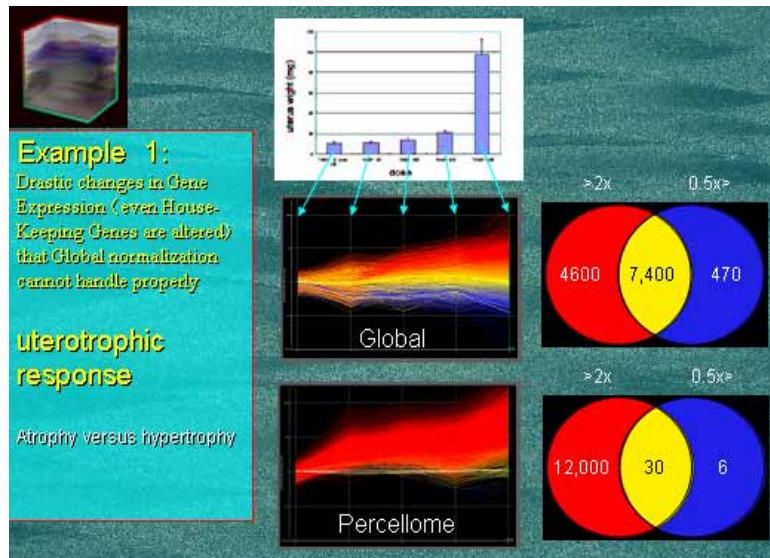


图 4 - 5